

360度高解像度カメラの採用事例 ～大型マンション～

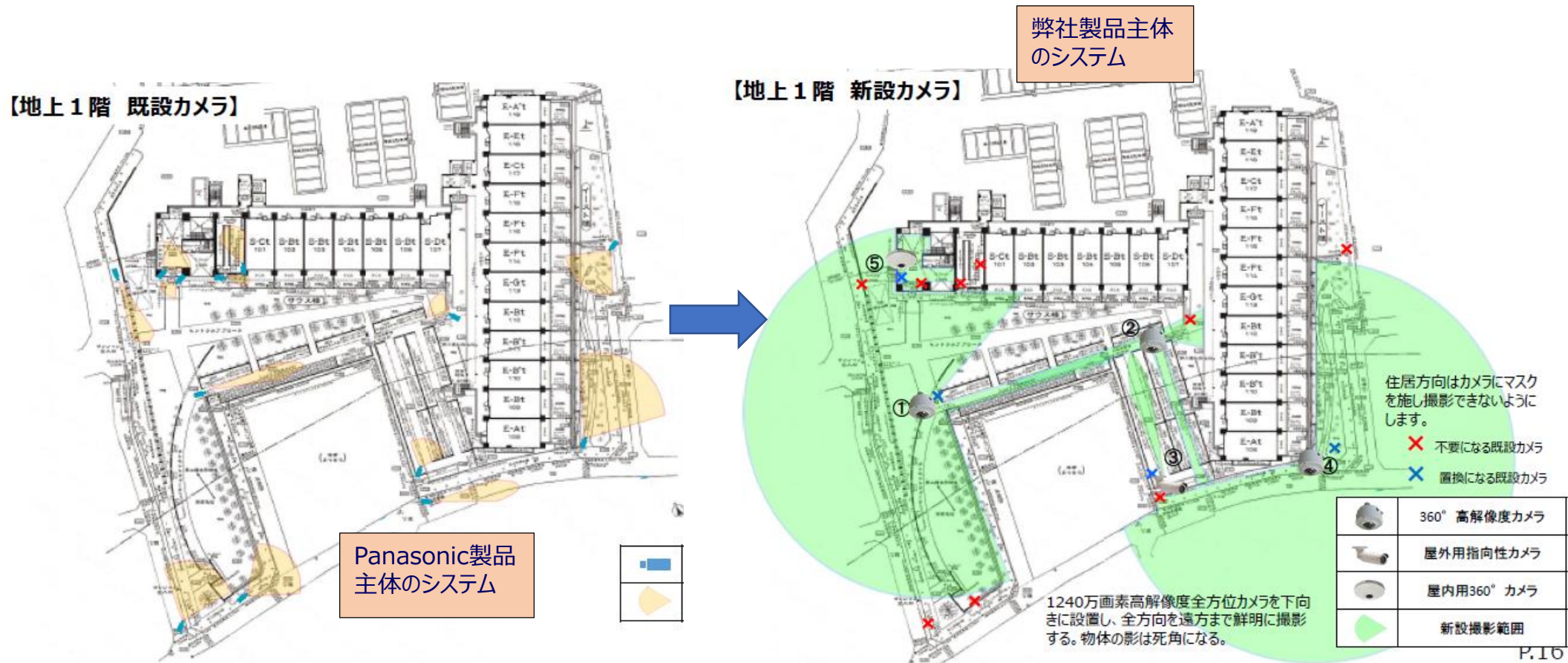
- 事例： 大阪の大型マンション（420戸）のカメラ更新
敷地内入出口、駐車場、駐輪場など
- ビフォア： アナログカメラ 28台 （限られた地点しか監視できていなかった）
- アフター： オプト社360度ネットワークカメラを中心とした構成 12台
- 導入メリット： 監視できていない地点が大幅に減少した。
カメラ台数を減らせたことで工事コスト、イニシャルコストを抑えられ、
将来の機器更新にも備えられた。
従来の設備更新で毎回発生する費用から、**約440万円の節約ができた。**

大型マンションの監視カメラの代替事例：費用比較

従来型のアナログ設備の更新との比較：将来に備えてIP化しました。

区 分	従来型のアナログ設備によるシステム パナソニック製カメラを主体とした構成	将来に備えたIPカメラシステム オプト製360度カメラを主体とした構成	評 価
カメラ台数	28台	12台	遠方まで鮮明に見える高解像度の全方位カメラを使用することで、撮影エリアが増加し台数を減らせた。
カメラおよび付帯設備費用の概算	639.8万円	227.4万円	従来型構成では、対抗上60%以上の大幅値引き敢行すれど、更新のたびに同様の費用が発生するため、受け入れられず。
録画装置	130万円	27.5万円	モニターすべき映像が減り、監視の負荷が軽減しました。
設置工事費概算	79万円	151万円	今回はIP化のためにインフラを全部入れ替えたため高額になりましたが、 次回以降は40万円程度になります。
合計金額	848.8万円	406.6万円	コスト削減に貢献

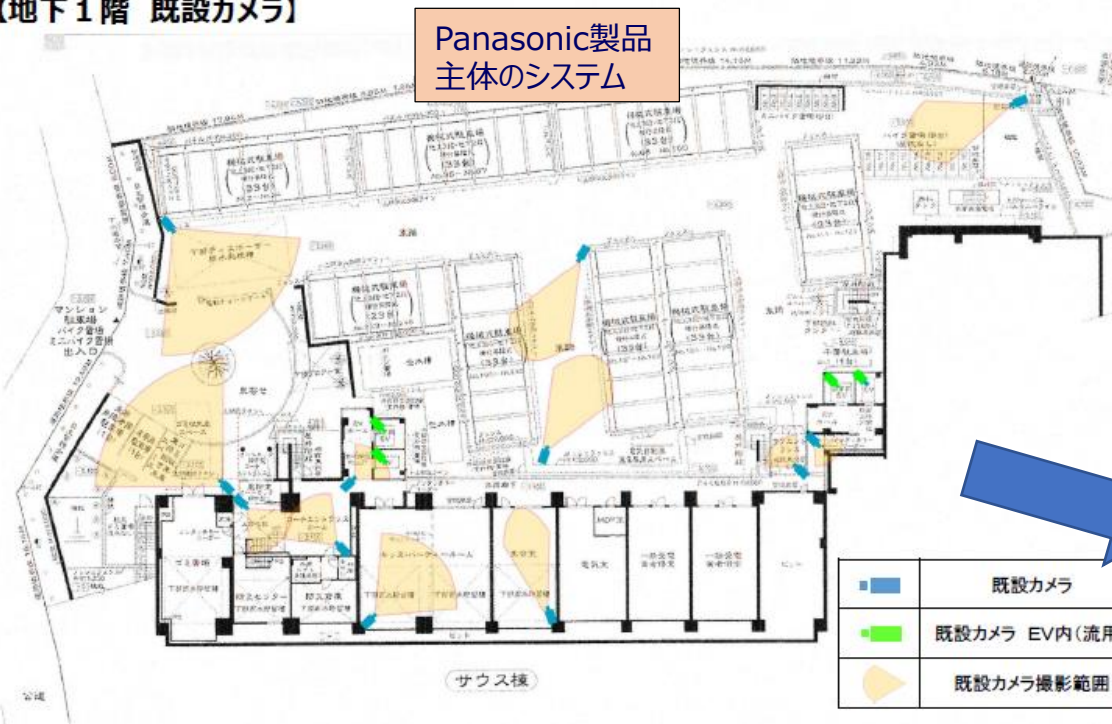
比較： 既存アナログ設備を更新しPanasonicカメラ（魚眼カメラを含む）を主体で構成されたシステムと
 オプト製高解像度360度カメラを主体としたネットワークカメラシステムに置き換えた場合



◎ Panasonicシステム（左図）では、13台必要だった（それでも撮影されていない場所も多い）のが、オプトカメラ主体のシステムでは、5 台に。

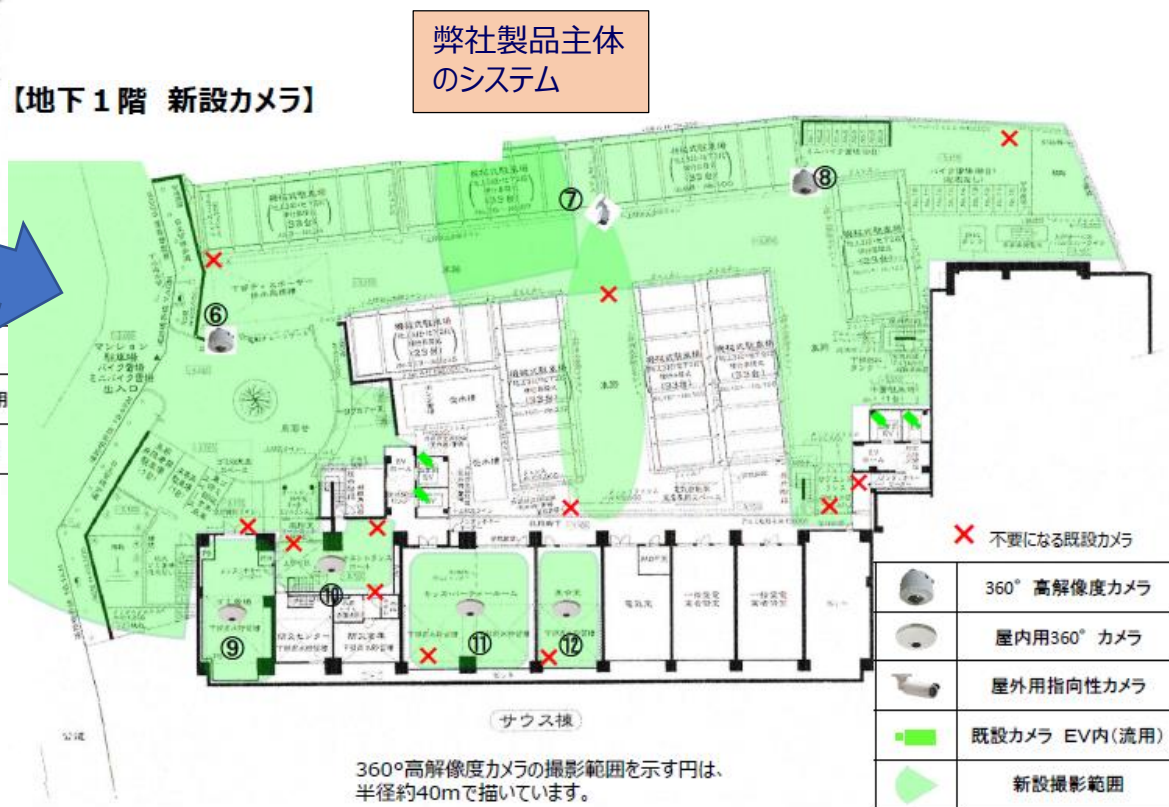
比較： 既存アナログ設備を更新しPanasonicカメラ（魚眼カメラを含む）を主体で構成されたシステムと
 オプト製高解像度360度カメラを主体としたネットワークカメラシステムに置き換えた場合

【地下1階 既設カメラ】



◎ Panasonicシステム（左図）では、15台必要だった（それでも撮影されていない場所も多い）のが、オプトカメラ主体のシステムでは、7台に。

【地下1階 新設カメラ】

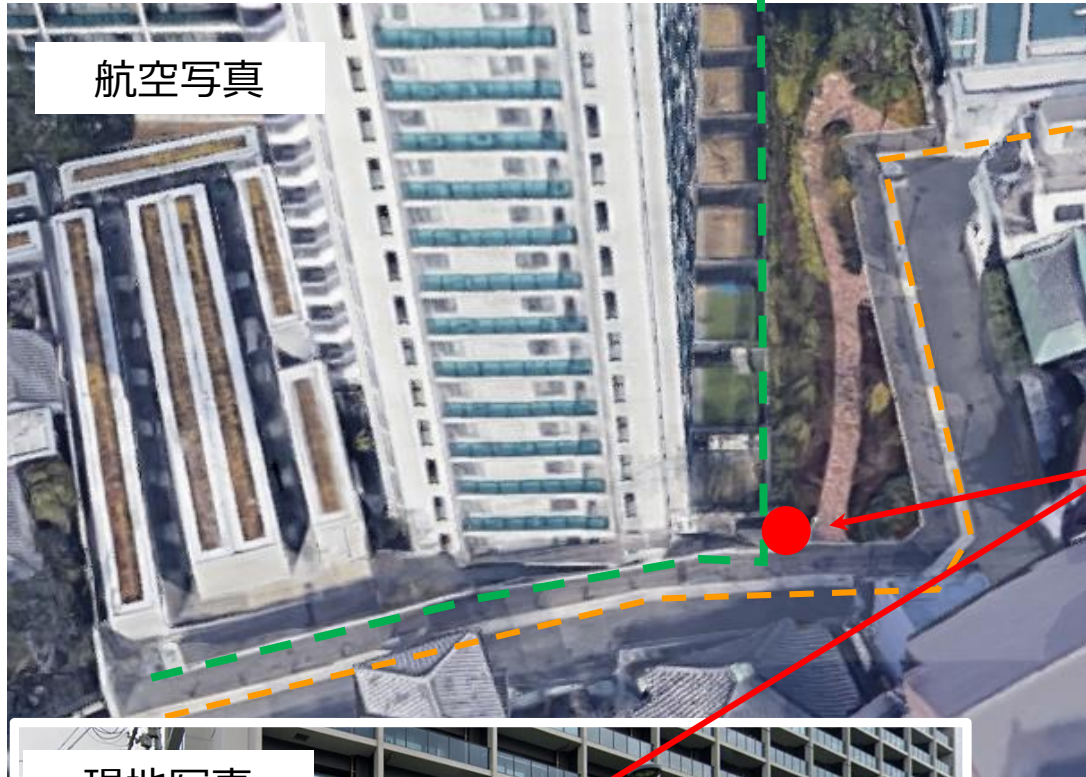


【効果】

- ◎ 結局、Panasonicシステムでは、28台必要だったのが、オプトカメラ主体のシステムにすることで12台に。
- ◎ 遠方まで鮮明に見える高解像度の全方位カメラを使用することで、撮影できるエリアが大幅に増加。

フェンス

360度カメラの利点を有効に使った例①



敷地コーナーへ下向き設置

- ・1台で南側東側両方を監視
- ・見やすく平面展開して表示
- ・住民のプライバシー保護
- ・台数削減＝省コスト

360度カメラ

※枝は伐採しました。



表示映像：住居側をカットした270度を平面展開して表示

設置状態：
低い位置でも撮影
範囲を広く取れる。



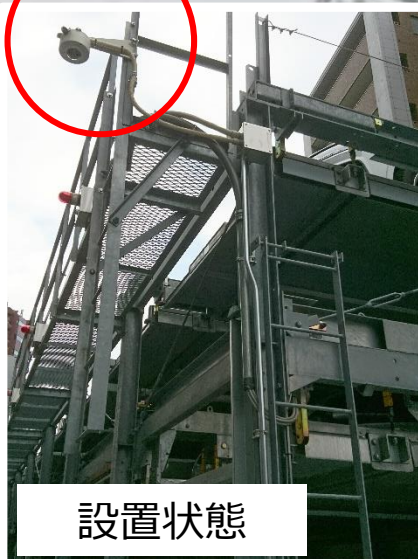
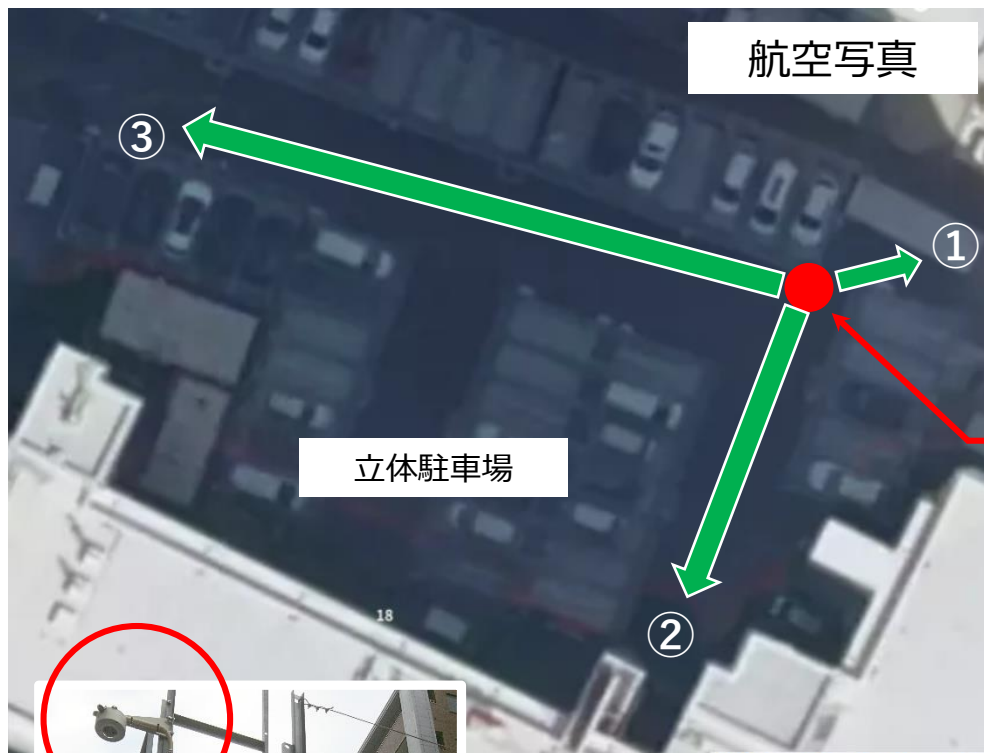
360度カメラの利点を有効に使った例②

撮影線の交点に下向き設置

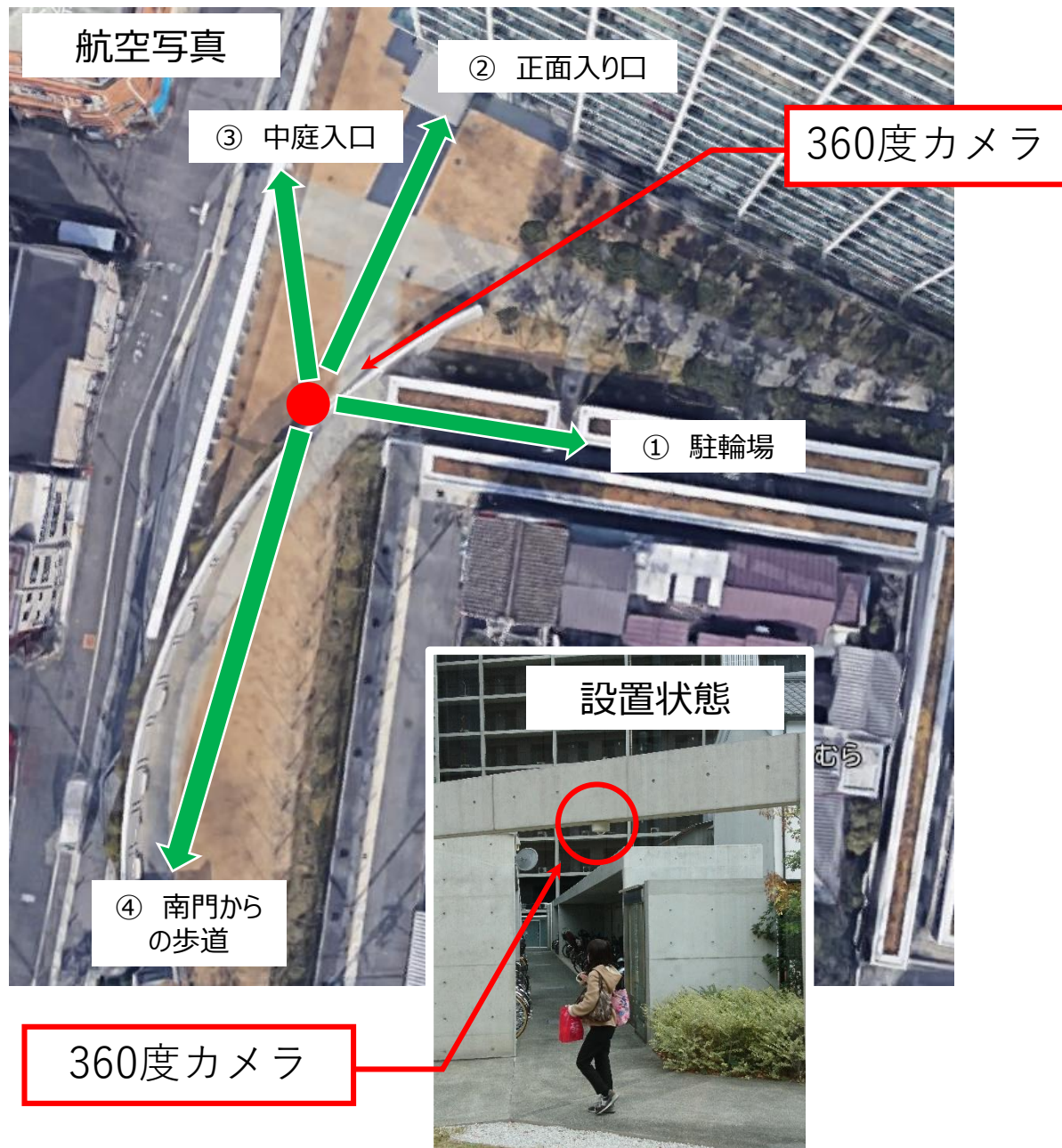
- ・ 1 台で複数方向を撮影
- ・ 270度パノラマ展開して 1 画面で表示
- ・ 台数削減 = 省コスト

360度カメラ

オプトのNUD360-Fは、
広範囲の監視に最適です。



表示映像：270度を平面展開して表示： 夜間の映像



360度カメラの利点を有効に使った例③

撮影線の交点に下向き設置

- ・1台で複数方向を撮影
- ・全方位丸映像で確認
- ・台数削減 = 省コスト



表示映像：魚眼の全方位映像 → 任意の位置の部分拡大可能